

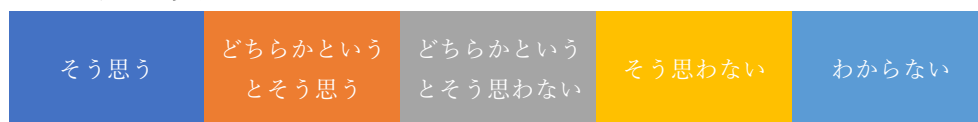
# 令和5年度 学校教育活動点検アンケート結果と分析の報告

12月に実施しました学校教育活動点検アンケートの結果とその分析を報告いたします。

今年度の教育活動について、「学校生活について・中学生としての規律」に関する質問と、「学校経営目標」の4つの柱「心通い合う人間関係と豊かな人間性の育成」「確かな学力が身につく学習活動の推進」「心身ともに健康で逞しく生きる生徒の育成」「地域から信頼される魅力ある学校づくり」の視点からアンケートを作成し、生徒・保護者・教職員に質問しました。その結果を分析し今後の教育活動に生かせるよう検討しました。



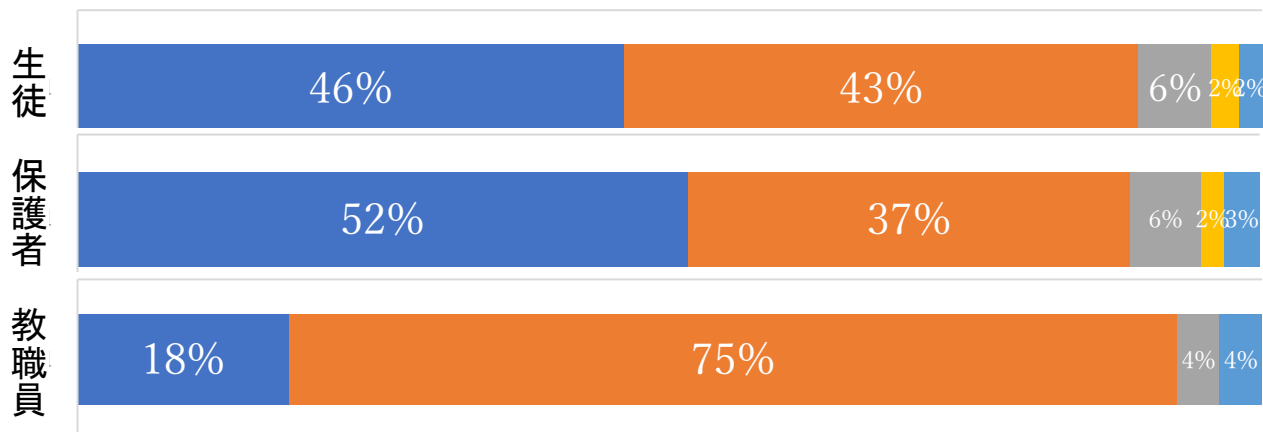
## ・グラフの見方



## 「学校生活・中学生としての規律」に関して

### ①学校生活の満足度

生徒	保護者	教職員
自分にとって、学校での生活は楽しく充実している	お子さんは、学校で楽しく充実した生活を送っている	生徒の、学校での生活は楽しく充実している

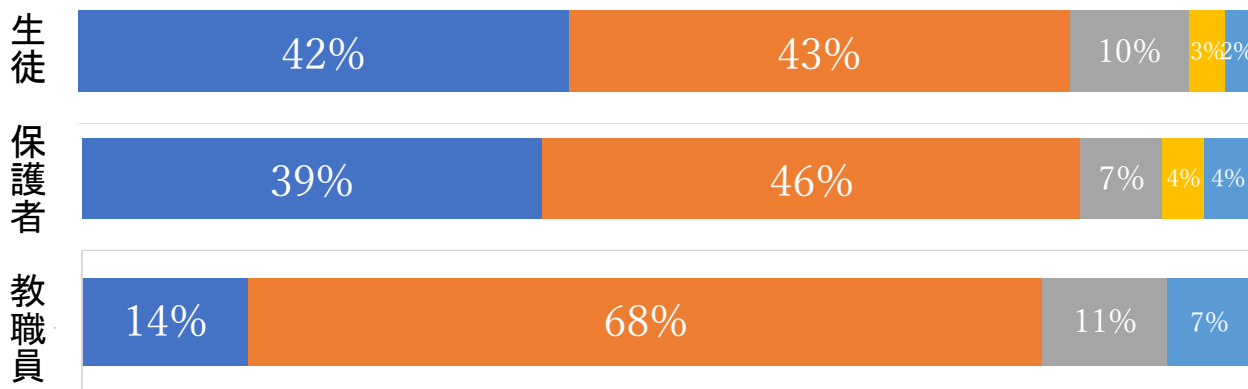


「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が約90%で、ほとんどの生徒が学校での生活を楽しく充実して過ごすことができます。また、保護者の「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している割合も昨年と同様で約90%です。また、教職員の回答では、「そう思う」と回答した割合が18%であり、さらに生徒に楽しく充実した学校生活を送ってほしいという思いが感じられます。

一方、「そう思わない／どちらかといえばそう思わない」と回答した生徒が8%おり、その生徒の思いを大切に、サポートに努めなければなりません。「ひとりも取り残さない」教育の実現に向け、生徒との対話を増やし、生徒全員が充実した学校生活ができるようにしていきたいと思ひます。

## ②学校での居場所

生徒	保護者	教職員
自分は、クラスの中で安心して気持ちよく生活することができる	お子さんは、クラスの中で安心して気持ちよく生活している	生徒は、クラスの中で安心して気持ちよく生活できている

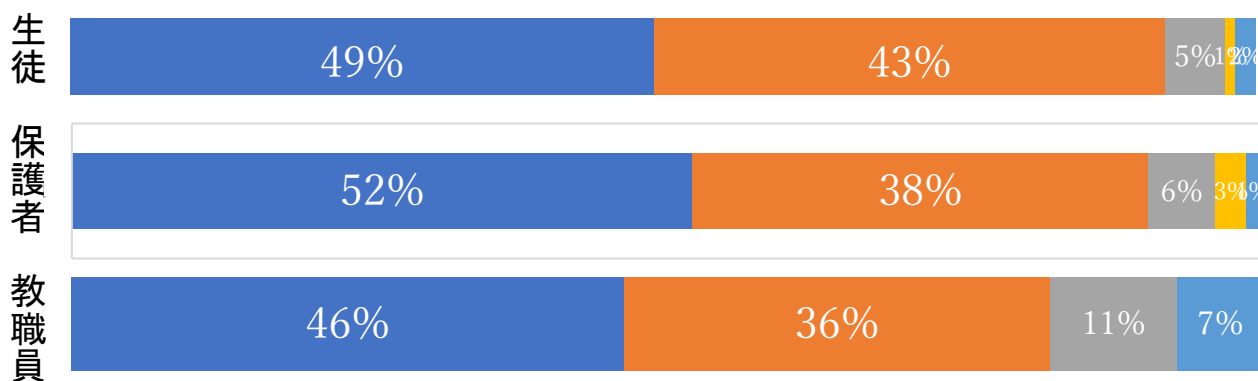


「思う／どちらかといえば思う」と回答している生徒が85%で、昨年度より5ポイント下がりました。一方、「思わない／どちらかといえば思わない」と回答した生徒が13%もあり、また保護者、教職員も11%が同様に回答しています。

本校の目指す学校像の1つに「生徒が安心して過ごせる学校」を掲げています。安心して生活ができる大きな要因は人間関係づくりにあります。今年度共生＊共育プログラムの授業に力を入れ取り組んできました。また、担任の先生による教育相談も随時行っています。このアンケート結果を生かして、より一層生徒一人一人の気持ちを理解し、全員が安心して学校生活が送れるように人間関係づくりを行っていききたいと思います。

## ③ルール・マナー

生徒	保護者	教職員
自分は、正しい服装を心がける・時間を守るなど、学校生活に必要なルールやマナーを守って生活している	お子さんは、正しい服装を心がける・時間を守るなど、学校生活に必要なルールやマナーを守って生活している	自分は生徒に、正しい服装を心がける・時間を守るなど、学校生活に必要なルールやマナーを守るよう指導している

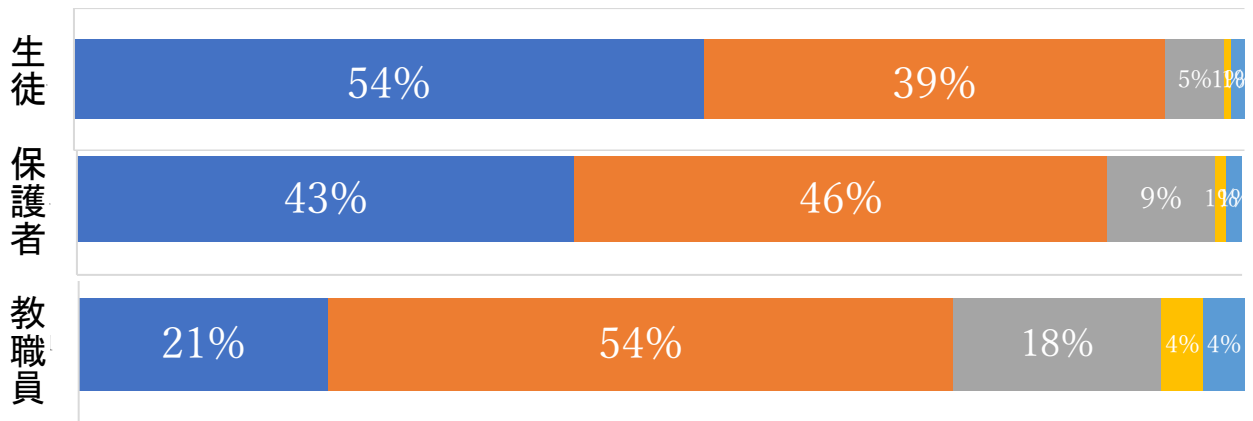


「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 92%で、ルールやマナーを意識して学校生活を送っていることが分かります。生徒の自由回答からも「きまりが守れている」「輪を乱す生徒がない」などの記述が目立ち、生徒たちが自分たちの規範意識の高さを自負していることが分かります。

本年度は新標準服を生徒たちが検討を重ねてつくることができました。ここ数年、自分たちの学校でのルールやマナーを自分たちで主体的に考え、協力しあって守っている姿が見られます。

#### ④あいさつ・ことばを大切に

生徒	保護者	教職員
自分は、おはよう・こんにちはなどの挨拶するよう心がけている また、時・場所・相手に応じた丁寧で正しい言葉遣いを心がけている	お子さんは、おはよう・こんにちはなどの挨拶するよう心がけている また、時・場所・相手に応じた丁寧で正しい言葉遣いを心がけている	生徒は、おはよう・こんにちはなどの挨拶をしている また、時・場所・相手に応じた丁寧で正しい言葉遣いをしている



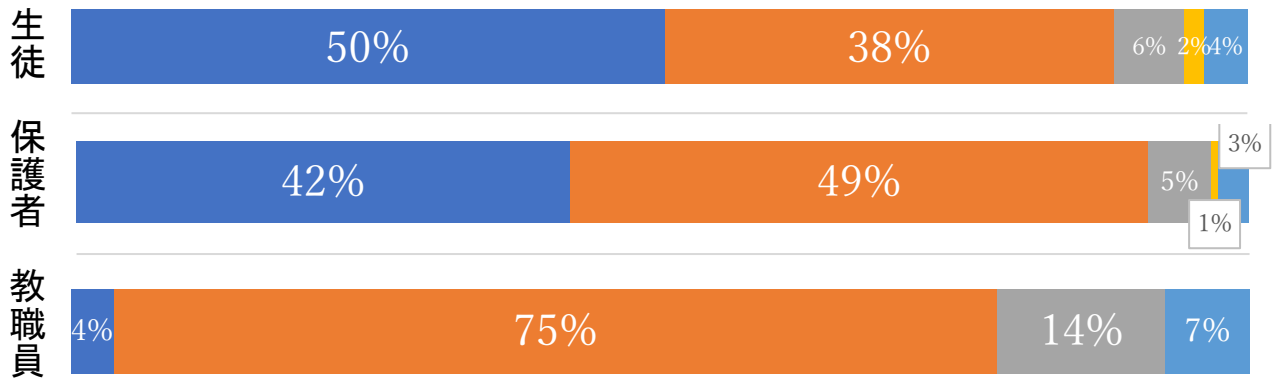
「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 93%おり、生徒の自由回答からも学校の良いところとして「あいさつができる」「あいさつがさかん」などの記述が多くありました。その一方、「そう思う」の回答はここ数年右肩下がりであり、教職員も同様に「そう思う」の回答が年々減っていることが気になります。

生活委員会があいさつ運動ののほりを作り、毎朝懸命にあいさつを行ってくれています。生徒会が中心となって様々な活動を行い、今よりもあいさつが盛んな学校へと変容していきたいと思えます。

## 「心通い合う人間関係と豊かな人間性の育成」に関して

### ⑤仲間を認める

生徒	保護者	教職員
自分は、人の悪口を言ったりいじめをしたりせず、友達の良いところを認めることができる	お子さんは、人の悪口を言ったりいじめをしたりせず、友達の良いところを認めることができる	生徒は、人の悪口を言ったりいじめをしたりせず、友達の良いところを認めることができる

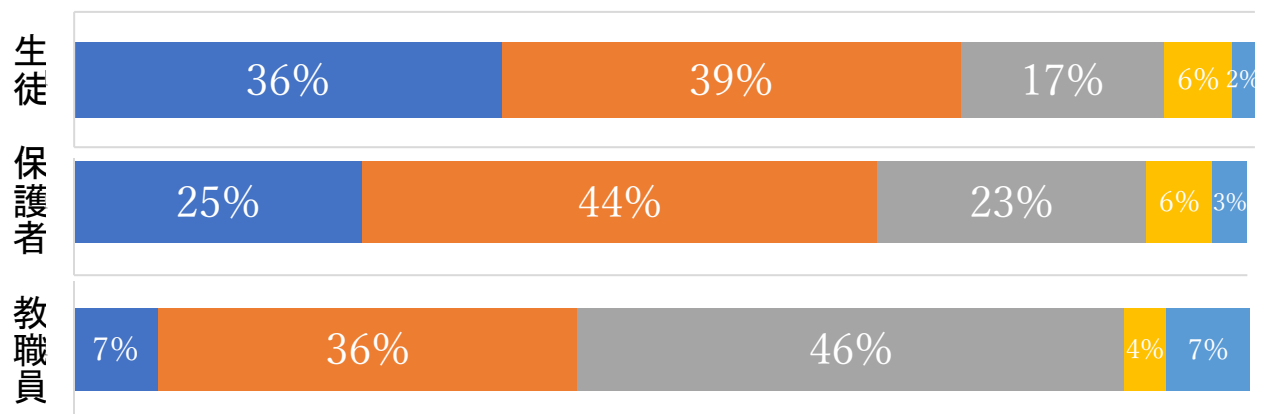


88%の生徒が「そう思う/どちらかといえばそう思う」と回答しています。また91%の保護者が同様に回答しており、生徒同士の関係性の良さを認めていただいています。その一方、教職員は「そう思う」の回答がわずか4%しかおらず、また「どちらか」というとそうは思わない」の回答も14%あり、仲間を認め合うことが大きな課題であるととらえていることが分かりました。

来年度、人権教育をさらに進め、自分らしく生活することの大切さや、人の良いところを認め合う態度の育成に力を注いでいきたいと思います。

### ⑥自己の考えと表現

生徒	保護者	教職員
自分は、自分の意見や考えを持ち、それをはっきりと述べるができる	お子さんは、自分の意見や考えを持ち、それをはっきりと述べるができる	生徒は、自分の意見や考えを持ち、それをはっきりと述べるができる

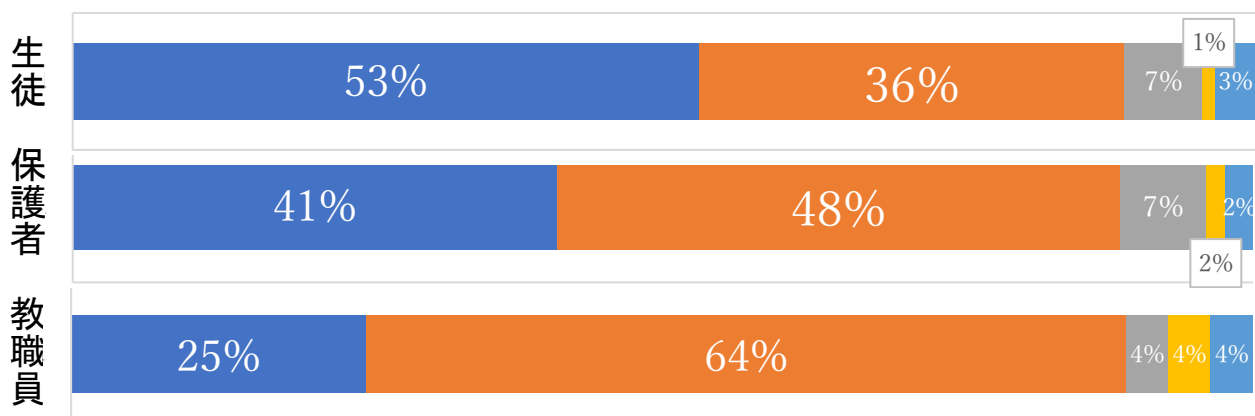


「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 75%、保護者は 69%で他の質問項目に比べて割合が大きく下回っています。

今年度、生徒が自信をもって発言することができる力を育成することに注力して教育活動を行ってきました。教職員の回答からも、まだまだ目標の達成には至っていません。授業や学級会の中で育成する場面を多く設けてきましたが、課題が残る結果になりました。来年度以降も、自信をもって意見を述べることができる生徒の育成に力を入れていきたいと思えます。

### ⑦人間関係形成

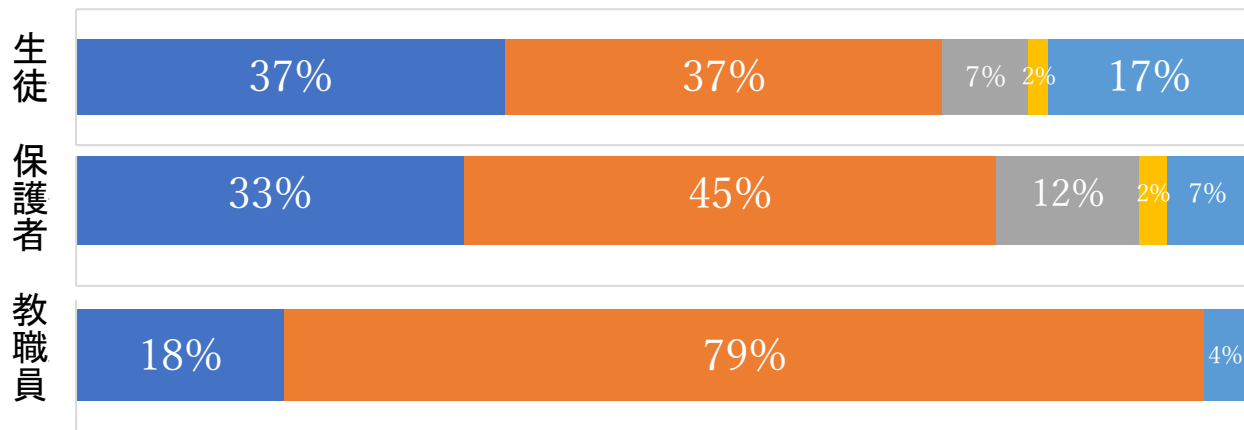
生徒	保護者	教職員
自分は、学級活動・行事など様々な場面を通じて、友達とより良い関係を作るようにしている	お子さんは、学級活動・行事など様々な場面を通じて、友達とより良い関係を作るようにしている	生徒は、学級活動・行事など様々な場面を通じて、友達とより良い関係を作るようにしている



「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 89%いて、生徒が他と協力して学級活動や行事に取り組んでいたことがわかります。コロナが5類になり、様々な活動や行事を活発に行えるようになり、生徒も生き生きと活動に参加しているように思えました。生徒が主体的に考えて取り組んだ活動も多く見られた 1 年となりました。

### ⑧自己肯定感・自己有用感

生徒	保護者	教職員
自分は、友達や先生から自分の頑張りや良いところが認められている	お子さんは、友達や先生から自分の頑張りや良いところが認められている	生徒は、友達や先生から自分の頑張りや良いところが認められている

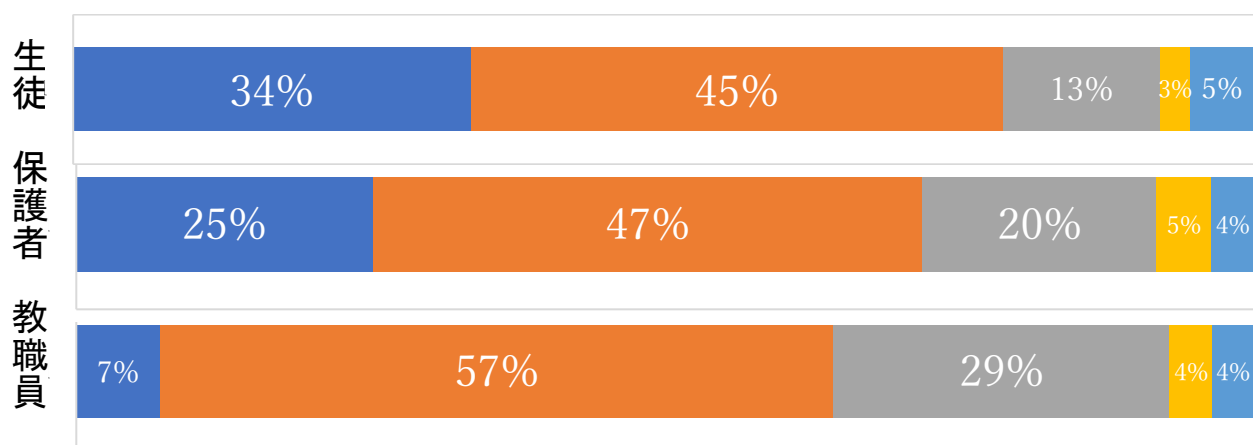


自己肯定感・自己有用感は今年度本校が育成したい資質・能力の1つです。共生\*共育プログラムの効果的な活用や、授業中に協働的な学びを多く取り入れ、他者を良いところを認め合う活動に注力してきました。「そう思う/どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が74%ながら、昨年度よりも肯定的にとらえている生徒の割合が増えました。97%の教職員が同様の回答をしていて、手ごたえを感じているように思えます。一方、「わからない」と答えている生徒が17%もあり、他者が自分の良いところを認めてくれているか自信がないと感じているようです。

今年度の活動を継続して行い、さらに自己肯定感・自己有用感の育成を図っていきたいと思います。

### ⑨自己実現

生徒	保護者	教職員
自分は、何事に対しても目標を持ち、それに向かって努力している	お子さんは、何事に対しても目標を持ち、それに向かって努力している	生徒は、何事に対しても目標を持ち、それに向かって努力している



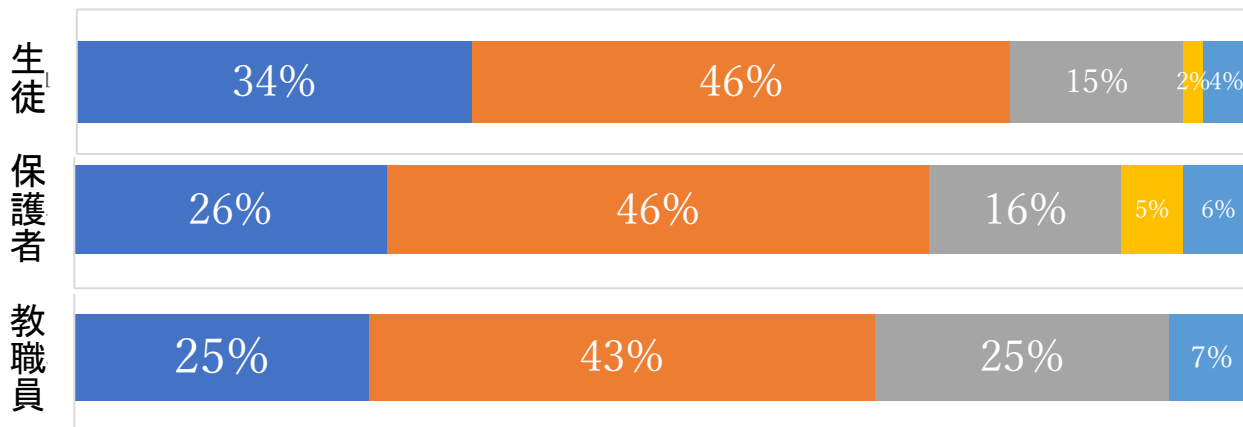
本校に限らず日本の中高生は、自分の将来に夢や目標を持っている生徒の割合が低い傾向があります。学習、学校行事、学級活動、部活動それぞれの活動について集団と生徒個人に目標を持たせ、達成に向けて努力することを指導するように努めてきました。

「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒は約 80%で、比較的高い割合となっています。保護者は約 70%、教職員は 64%しかそのように認識しておらず、生徒にさらに目標に向かって努力する姿を望んでいることが感じられます。次年度も引き続き、自己実現が図れる資質能力の向上を目指して行きたいと思います。

## 「確かな学力が身につく学習活動の推進」に関して

### ⑩授業（主体的に学習に取り組む態度）

生徒	保護者	教職員
自分は、意欲的・主体的に授業に取り組んでいる	お子さんは、意欲的・主体的に授業に取り組んでいる	生徒は、意欲的・主体的に授業に取り組んでいる

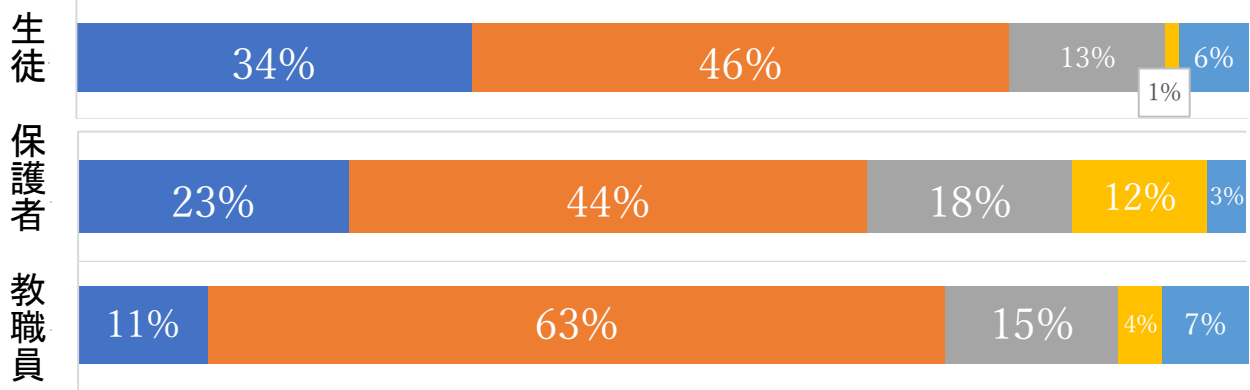


「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 79%で昨年より 4 ポイント減少しています。また、「そう思わない／どちらかといえばそう思わない」と回答した生徒が 17%もいて、約 6 人に 1 人の生徒が授業に意欲が持てていないことが分かります。さらに 25%の教職員が生徒が意欲的、主体的に授業に参加していないと感じていることから、あらためて理由を把握し、授業改善を図っていかねばならないと感じています。

来年度は授業ごとにふりかえりをしっかりと行い、生徒個々の状況や心情を理解し、生徒が今以上に意欲的に授業に参加できるような授業の実践を図りたいと考えています。

⑪授業（確かな学び）

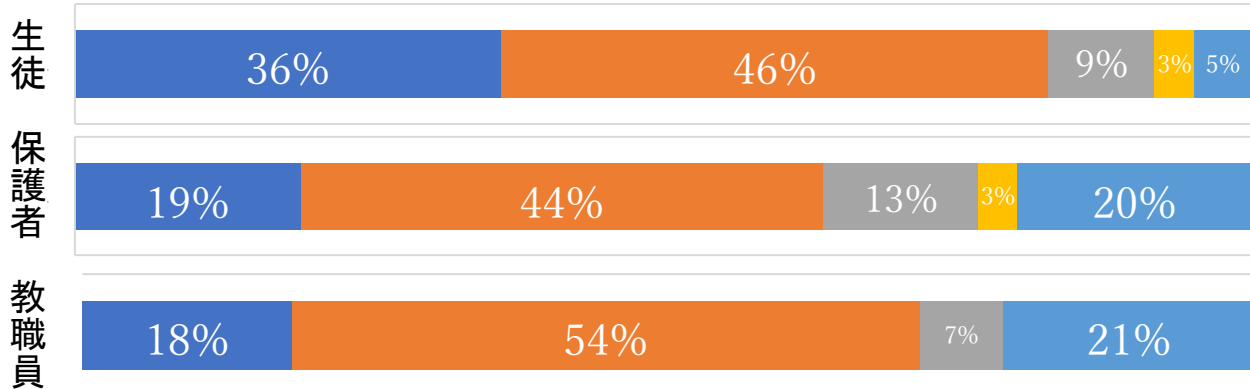
生徒	保護者	教職員
自分は、授業の内容を理解し、知識や技能を身につけている	お子さんは、授業の内容を理解し、知識や技能を身につけている	生徒は、授業の内容を理解し、知識や技能を身につけている



「そう思う/どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 80%、教職員は 74%の回答でした。昨年度とほぼ同じ割合であり、生徒が「わかった」と実感できる授業を目指していますが、なかなか成果が上がっていないのが現状です。保護者の自由記載から「子供が理解できないまま授業が進んでしまう」と懸念する声も上がっており、生徒にしっかりと授業内容を理解させていきたいと思えます。ユニバーサルデザインを意識した授業づくりを行ったり、定期テスト前には学習相談会を開き、生徒の学習支援を図ってきましたが、個別指導等の在り方を検討し適切に支援していきたいと思えます。

⑫授業（先生について）

生徒	保護者	教職員
先生は、楽しく丁寧でわかりやすい授業を行っている	先生は、楽しく丁寧でわかりやすい授業を行っている	自分は、楽しく丁寧でわかりやすい授業を行っている

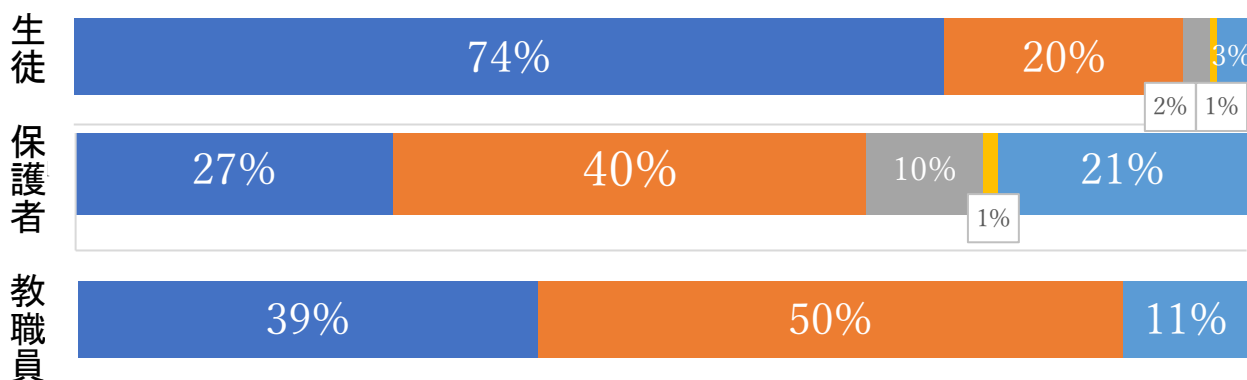


「そう思う/どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が 82%で、概ね楽しく授業に参加できていることが分かります。しかし昨年より7ポイント減少していることから生徒の心情をしっかりと把握し、興味関心が高まる授業を実践していきたいと感じています。また保護者の20%が「わからない」と回答していることから、授業内容の周知の仕方や授業参観の開催方法などを検討し期待と考えています。



⑬授業（学び合い・発表について）

生徒	保護者	教職員
授業中に生徒同士で話し合う機会や、意見などを発表する場がある	先生は、授業中に生徒同士で話し合う機会や、意見などを発表する場を作っている	自分は、授業中に生徒同士で話し合う機会や、意見などを発表する場を作っている



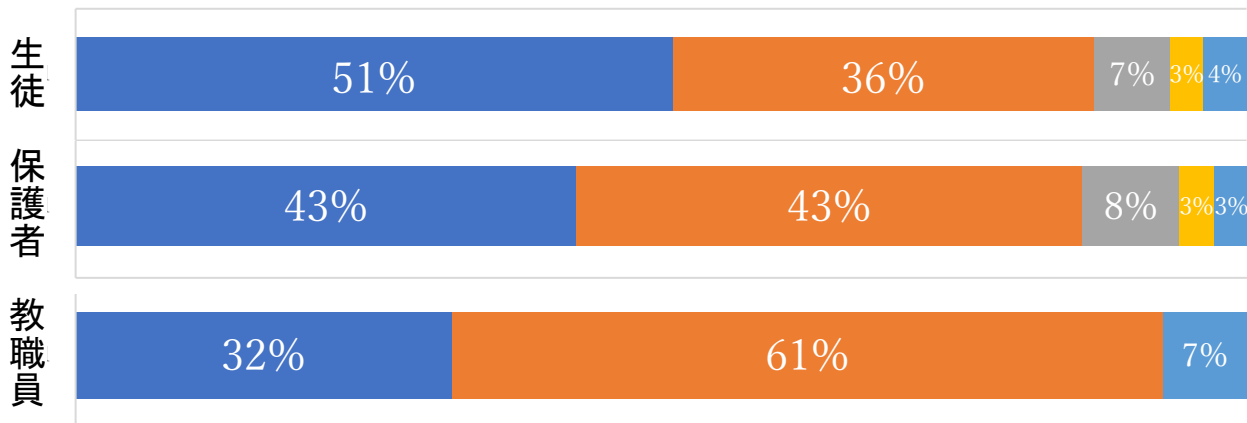
自分の考えを持ち、学び合いに積極的に参加する生徒の育成を今年度の重点目標に設定しました。「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答している生徒が94%、教職員が89%おり、一定の成果が表れていると感じています。

授業では少人数のグループ活動が盛んに行われました。学び合い活動が苦手と感じている生徒もいますので、今年度の取組を生かして、さらに生徒が自信をもって発言できる場を作っていきたいと思えます。

「心身ともに健康で逞しく生きる生徒の育成」に関して

⑭学級活動・委員会活動

生徒	保護者	教職員
自分は、クラスの活動（学級活動・係活動・清掃活動など）・委員会活動に意欲的・主体的に取り組んでいる	お子さんは、クラスの活動（学級活動・係活動・清掃活動など）・委員会活動に意欲的・主体的に取り組んでいる	生徒は、クラスの活動（学級活動・係活動・清掃活動など）・委員会活動に意欲的・主体的に取り組んでいる

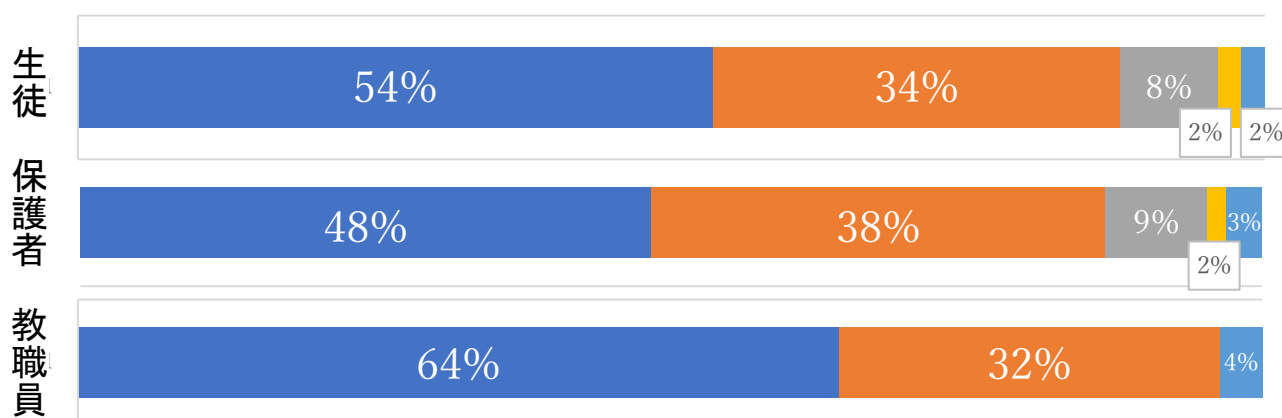


87%の生徒が「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答しています。

どのクラスも生徒の自己肯定感、自己有用感を育成するために、係分担等に工夫を凝らして学級経営にあたりました。自分の仕事に責任を持ち、しっかりと行うことができたことが分かります。しかし約 10 人に 1 人の生徒が「そう思わない／どちらかといえばそう思わない」と回答しています。各担当で理由を把握し、来年度の課題にしたいと思います。

### ⑮学校行事

生徒	保護者	教職員
自分は、学校行事（体育祭・文化祭・校外行事など）に意欲的・主体的に取り組んでいる	お子さんは、学校行事（体育祭・文化祭・校外行事など）に意欲的・主体的に取り組んでいる	生徒は、学校行事（体育祭・文化祭・校外行事など）に意欲的・主体的に取り組んでいる

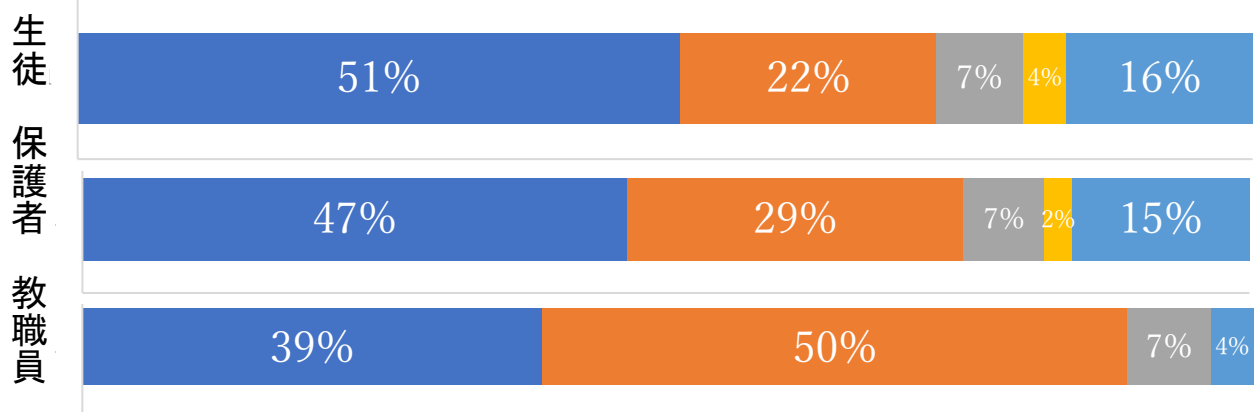


生徒や保護者の「学校の良いところ」の自由記載には「生徒が学校行事に一生懸命に取り組むこと」という回答が多く見られます。今年度は「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答した生徒は88%、保護者86%、教職員96%と、とても高い割合でした。

「生徒が主役」というスローガンのもと、生徒が主体的に参加する学校行事をはじめとした特別活動の推進を目指してまいりましたので、たいへんうれしい回答結果になりました。

## ⑩部活動

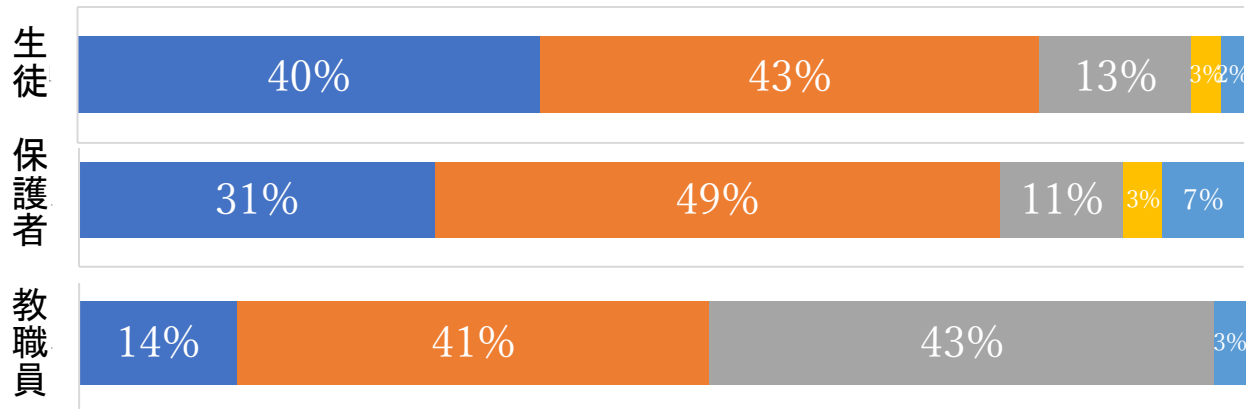
生徒	保護者	教職員
自分は、部活動に意欲的・主体的に取り組んでいる ※未加入者は「わからない」に○	お子さんは、部活動に意欲的・主体的に取り組んでいる ※未加入者は「わからない」に○	生徒は、部活動に意欲的・主体的に取り組んでいる



部活動に未加入の生徒を除くと、87%の生徒が「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答しています。一方 13%の生徒が「そう思わない／どちらかといえばそう思わない」と回答しています。今年度は途中退部の例もいくつかあり、約 10 人に 1 人の生徒がそのような気持ちでいることに留意し、生徒個々に目を向けた部活動運営をしていきたいと思いをします。

## ⑪健康・安全

生徒	保護者	教職員
自分は、手洗い、マスクの着用、人との距離をとるなど、感染症予防を意識して生活している	学校は、生徒に感染症予防の指導をし、換気、消毒、教育活動の見直しなどの感染症対策に取り組んでいる	生徒は、手洗い、マスクの着用、人との距離をとるなど、感染症予防を意識して生活している

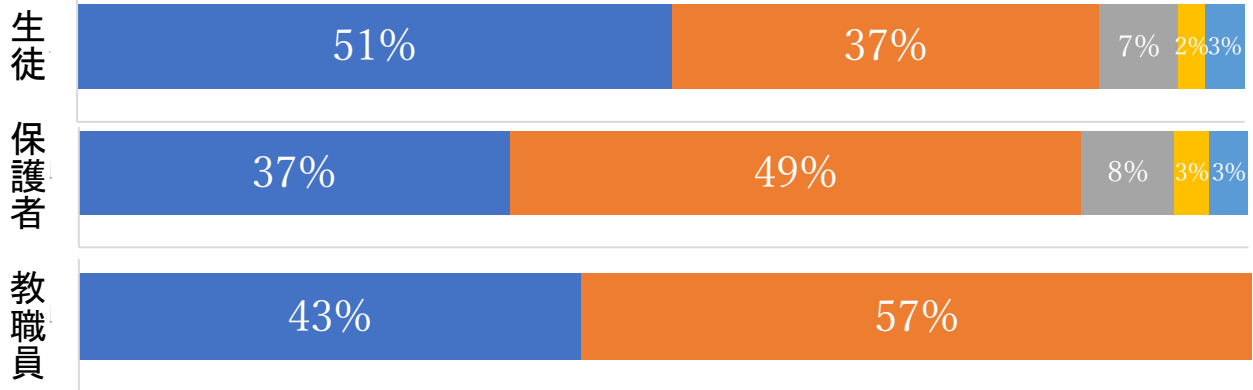


「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答した生徒は 83%で、昨年より 7 ポイント減少しました。コロナが 5 類になり、主体的に感染症予防する生徒の割合が減少したと思われます。43%の教職員が「どちらかというと思えない」と回答しており、生徒の意識の低さを感じています。来年度以降、生徒が健康管理を主体的に行えるように指導していきたいと考えています。

## 「地域から信頼される魅力ある学校づくり」に関して

### ⑱情報配信

生徒	保護者	教職員
便り・通信・掲示物等で、学校の様子や連絡などの情報を知ることができる	学校は、便り・通信・掲示物等で、学校の様子・連絡などの情報を発信している	学校は、便り・通信・掲示物等で、学校の様子・連絡などの情報を発信している

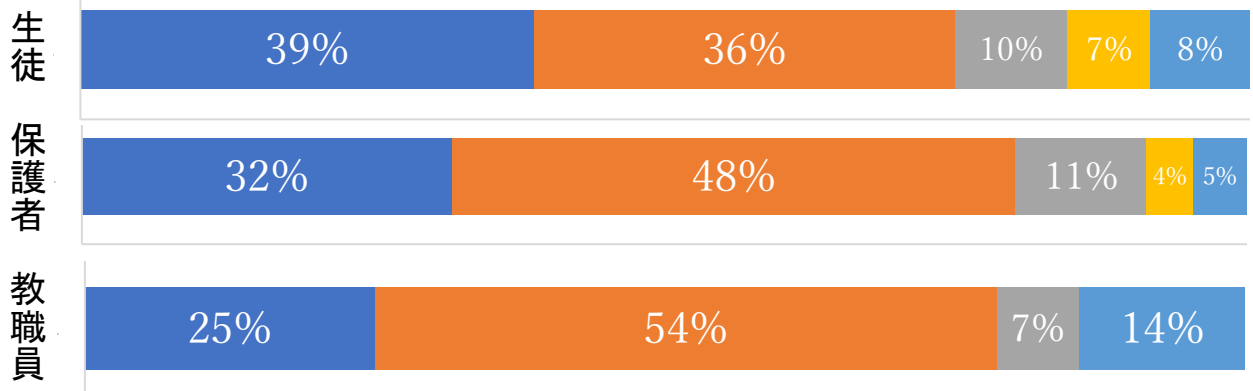


86%の保護者が「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答しています。自由記載では「学校の様子が分からない」という声も多く見られました。

各クラス毎週金曜日に学級通信（次週の時間割）を出しています。また学校行事はできる限りライブ配信していて保護者の方からは、感謝の言葉もいただけてます。今後も様々な形で情報配信に努めていきたいと思います。

### ⑲相談体制

生徒	保護者	教職員
先生は話しやすく、何かあった時に相談できる	自分（保護者）にとって、先生は話しやすく、何かあった時に相談できる	生徒や保護者にとって、自分は話しやすく、何かあった時に相談できる相手である

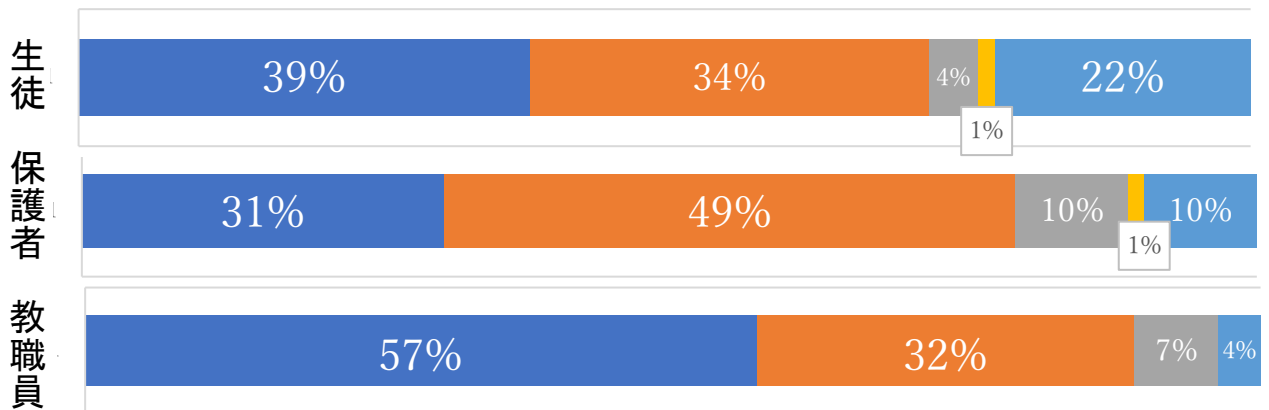


「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答した生徒が 75%でした。一方「そう思わない／どちらかといえばそう思わない」と回答した生徒は 17%、さらに「わからない」と答えた生徒も 8% いて、今後の課題です。

教育相談のアンケートを年 3 回実施し、さらに担任と生徒の教育相談を 3 回、保護者を交えた 3 者面談も 2 回実施しました。「教育相談の推進による生徒理解の徹底」を今年度の重点目標に掲げていたので、少し残念な結果となりました。生徒との強い信頼関係を築き、生徒や保護者が相談しやすい環境を構築していきたいと思います。

## ⑳保護者・地域連携

生徒	保護者	教職員
学校は、保護者や地域と連携している	学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っている	学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っている



「そう思う／どちらかといえばそう思う」と回答した生徒は 73%、保護者は 80%でした。

おやじの会の皆さんが行ってくださる「紅白餅つき」や「梅干しづくり」、地域教育会議が主催でおこなっている「Hi4City フェスティバル」などに、生徒が積極的に参加することができています。11%の保護者が「そう思わない／どちらかといえばそう思わない」と回答していることから、保護者の方との連携をさらに深めていきたいと考えています。

## 「自由記載より」

学校教育活動点検アンケートの自由記載については次のような意見がありました。「生徒」「保護者」に分けて示します。

### (1) 日吉中で「良い」と思うことは何ですか？

#### 「生徒」

・あいさつができる(多数) ・明るい(多数) ・仲がよい(多数) ・先生がやさしい(多数)  
・先生に相談しやすい(多数) ・行事が楽しい ・地域とのイベントが楽しい ・給食がおいしい  
・先輩、後輩の垣根がなく、仲が良い ・部活が楽しい(多数) ・緑が多い ・花壇がきれい(多数) ・  
いじめがない(多数) ・トイレがきれい ・生徒が中心となって活動できる ・生徒の意見が尊重される  
・評議委員会など、学校のルール作りに生徒が参加できる ・平和に過ごせる ・GIGA 端末を  
多く活用できる

#### 「保護者」

・生徒が仲が良い ・生徒があいさつをしてくれる ・先生がしっかりと一人一人の生徒を見てくれる  
・先生があたたかい ・熱心な先生が多い ・行事が盛り上がる ・部活に一生懸命に取り組む ・  
校内がきれい ・花がいつもきれい ・朝校門で先生たちが生徒だけでなく、通りかかる地域の住民にも  
挨拶してくれる ・おだやかで自由な雰囲気がある ・生徒が主体的に活動できる環境をつくってく  
れている ・まじめで誠実な生徒が多い ・文化祭で日頃の勉強や作品など個々に素晴らしいものが見  
られたのでとてもよかった ・学級通信をこまめに出してくださり、学校の様子がよくわかる ・先生  
たちの対応が早く、トラブル等を親身に解決してくれる ・行事をネット配信してくれる 。いじめが  
なくおだやか ・合唱コンクールがとてもよかった ・職員室前の掲示物がとてもフレンドリーでよい  
・外国から転入してきたが、日本語がわからない中、温かくサポートしていただき感謝している ・先  
生が部活に熱心にかかわってくれる ・支援級の生徒の個性を尊重し、温かく見守ってもらえる

### (2) 日吉中が「もう少しこうなるといい」と思うことは何ですか？

#### 「生徒」

・授業中にうるさくなる ・石鹸やトイレトペーパーがない時がある ・ジャージ登校を認めてほし  
い ・部活動を増やしてほしい ・部活のメニューを自分たちで考えたい ・先生が自分の気持ちを聞  
いてくれないことがあった ・体育館に空調をつけてほしい、ワックスをかけてほしい ・他学年との  
交流を増やしてほしい ・あいさつをもっと盛んにしたい ・時間を守っていない人がある ・授業中  
にPCで授業と関係ないことをしている人があるのに先生が注意しない

#### 「保護者」

・成績の基準が厳しく感じる ・テストの点の取り方を教えてほしい ・塾に行っていない生徒もいる  
ことを考えてほしい ・生徒がおとなしい。もっと活発な学校になってほしい ・部活の成績が上がる  
とよい ・部活動を増やしてほしい ・先生方が働きすぎな気がします。もっと休んでほしい ・お知  
らせをもう少し早く出してほしい ・手紙はすべてミマモルメで出してほしい ・授業参観を増やして  
ほしい ・部活動ができる日を増やしてほしい ・部活動はガイドライン通りの日数でやってほしい  
・授業が分からない、ついていけない生徒への対応をしっかりと行ってほしい ・体育祭や文化祭を平  
日開催にしてほしい ・不機嫌そうな先生がいて、生徒が委縮している